



今日から2学期！

昨日までの夏休み、子どもたちはどのように過ごしていたのでしょうか？今年の夏も、厳しい暑さの日が多かったように思います。一方で、全国各地で大雨による甚大な被害も出ています。また、コロナウイルスの感染拡大も収まるどころか爆発的に広がっており、大変心配な状況です。



さて、学校では今日から2学期が始まりました。これからもまだまだ暑い日が続くと予想されます。そして、コロナウイルスの感染も非常に心配です。熱中症やコロナ対策に気を付けながら、学習を進めていきたいと思えます。2学期も今後のコロナウイルスの感染状況によっては、学習活動の規模を縮小したり中止したりの変更が出てくることも予想されます。保護者の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

秋季大運動会は、今年も午前中で開催します！

コロナウイルスの感染防止と熱中症予防の観点から、本年度の運動会も規模を縮小して午前中での開催を予定しています。主な内容は次のとおりです。下線部が昨年度と変更している部分です。

- ① 来賓・高齢者の参観は遠慮していただく。来賓・高齢者席も設けない。
- ② 参観者は、児童の保護者・祖父母・中学生・高校生・預け先のない乳幼児も含め、1家庭4名までとする。
参観者へは、受付での検温とマスク着用をお願いし、体調が悪い方の入場はお断りする。
- ③ 午前中のみでの半日開催とし、昼食は下校後、各家庭でとってもらう。
- ④ 児童用テントをできるだけ増やす。
- ⑤ 行進は行わず、開閉会式の内容も更に簡略化する。
- ⑥ 競技種目も縮小する。全員が参加できる種目を増やすため、学年リレーを削除し、団技を実施する。
- ⑦ 声を出しての応援は最小限にとどめる。
- ⑧ 立ち見の応援スペースは設けるが、テントやシートを確保しての応援席は設けない。



以上のように考えています。保護者の方も声援でなく拍手で応援いただきますようお願いいたします。期日は、予定どおり10月16日（日）に実施予定です。保護者の皆様には、いろいろと御不便をおかけしますが、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

【裏面へ続く→】

友達の作文が新聞に載りました！

サッカーの練習試合

五年 酒井 瞭汰

きのうと今日は北浦で練習試合でした。二日間とも朝早くから夕方までがつつりサッカーさんまいでした。日ざしが強い中での試合だったのでとても暑くてたまらなかつたです。二日間で試合も多かつたので足が痛くてたまりませんでした。今日、お風呂の後に足のうらを見てみると足のまめがつぶれていました。その後足の周りにシップをはりまくりました。最初は自分でドリブルをしながらボールを運ぶことも出来なかつたけど少しずつ自分でボールを運べるようになってのがうれしいです。もっともっと練習して今よりもっといいプレーが出来るようにがんばりたいです。



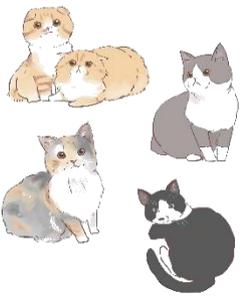
【令和4年6月17日夕刊デイリー】

命について

五年 中村 ゆき菜

「命の大切さ」。
これは、今回の遠足で学んだ事です。遠足では、動物愛護センターに行きました。遠足で心に残った事が二つあります。
一つ目は、動物とのつながりについてです。動物愛護センターでは、はじめに授業がありました。授業のめあては、「人と動物の関わりについて考えよう」でした。野生動物、家畜、ペットの三つに分けて、人間とのつながりについて考えました。野生動物は、自然との共有をする事が分かりました。家畜は、食や衣に役立っています。食や衣は、なくてはならないものです。その分、育てている人には、命を育てる責任があるので、育てるのはとても大変です。食べ物には、全て命があります。「いただきます」「ごちそうさま」は感謝の気持ちを伝える言葉なので、気持ちをこめて言う事が大切だと教わりました。ペットは、一緒にいるととても楽しくて、明るい気持ちになれる大切な存在です。だから、家畜と同じように、育てる責任があります。ただ、かわいという理由で、飼える物ではないという事です。授業では、動物にも命があつて、動物と人は大切なつながりがある事が分かりました。
二つ目は、病氣や負しようした動物たちの治りようについてです。授業の後に動物の見学をしました。一つ目の部屋にはケージに入っているねこがいました。スタッフの人が、
「このねこたちは、けがもしていなくて病氣でもないのに手術をしました。どうしてでしょう。」
と質問をしました。私は、お母さんから聞いた話を少し思い出して、
「赤ちゃんが産まれないようにするために。」
と、間ちがえたらどうしようかと、きん張しながら言いました。すると、
「正解」
と言われました。合つていてほつとしました。赤ちゃんが産まれないように手術したねこは、ある印があります。それは、耳に切り込みがある事です。私は初めて知ったのでびつくりしました。同時に、そういう方法でかわいそうなのらねこを増やさない事が分かりました。
生き物たちは、みんな命があり、みんな大切な存在です。だから、動物たちとのつながりに感謝しようと思えました。

【令和4年7月3日宮崎日日新聞】



【文責：鈴木 泰昌】